

厚生労働科学研究費補助金
(政策科学総合研究事業(統計情報総合研究事業))
令和7年度 分担研究報告書

ICD-11 の適用を通じて我が国の死因・疾病統計の向上を目指すための研究
「ICD-11 の国内適用に向けた公的統計への影響分析」

分担研究者 小川俊夫 摂南大学農学部食品栄養学科 教授
今井健 東京大学大学院医学系研究科疾患生命工学センター
医工情報学部門 准教授
東尚弘 東京大学大学院医学系研究科公衆衛生学分野 教授
今村知明 奈良県立医科大学公衆衛生学講座 教授

研究要旨

本研究は、ICD-11 の円滑な国内導入と活用に向けて、ICD-11 国内導入に伴う課題や影響を検証し、ICD-11 に対応した統計基準の検討を行うとともに、厚生労働省や各学会、WHO などの意見集約と調整、意見発信を行うための基礎資料を取りまとめ、ICD-11 のわが国への円滑な適用に資することを目的とする。研究3年目の本年は、昨年度検討した WHO 製表分類と基本分類表、ICD10-11 マッピングテーブルを組み合わせた手法(マクロアプローチ)と、大規模言語モデル(LLM)を用いた自由入力病名の ICD-11 コーディングシステムを用いた病名ベースの解析手法(ミクロアプローチ)の双方にて、2025年5月の疾病、傷害及び死因分類部会で示された新たな疾病分類表と死因分類表を用いたわが国の統計に対する影響について分析した。脳血管疾患が循環器系から神経系へ移動した点や、睡眠・覚醒障害が神経系から新設の「睡眠・覚醒障害群」へ移動するなど数々の影響が実データベースで明らかとなった。また、標準病名マスターと ICD-11 用語和訳作業結果を統合した ICD-11 対応の統合標準病名集の開発に向け、国内標準病名からの ICD-11 コーディング作業を昨年度に引き続き実施した。また、WHO-FIC 年次会議に参加して WHO における ICD 改訂動向や諸外国の ICD-11 国内適用に関する情報を収集するとともに、日本における LLM の保健医療行政支援への活用について情報発信を行った。

A. 研究目的

本研究は、ICD-11 の円滑な国内導入と活用に向けて、ICD-11 国内導入に伴う課題や影響を検証し、ICD-11 に対応した統計基準の検討を行うとともに、厚生労働省や各学会、WHO などの意見集約と調整、意見発信を行うための基礎資料を取りまとめ、ICD-11 のわが国への円滑な適用に資

することも目的である。具体的には、

- (1) ICD-11 国内導入のわが国の公的統計に与える影響を考察し、ICD-11 の円滑な国内導入に資する知見を集積すること、
- (2) ICD-11 のわが国における活用について考察し、課題を整理すること、さらに
- (3) WHO-FIC 年次会議に参加して WHO における ICD 改訂動向や諸外国の

ICD-11 国内適用に関する情報を収集し、本研究で得られた知見を国内外に意見発信することである。

本研究により、WHO 分類とわが国の罹患統計・死亡統計との整合性について多角的・包括的に分析することで、ICD-11 導入によるわが国の公的統計への影響の検証や課題抽出を行うことが可能である。また、ICD-11 国内導入に必須となる新たな ICD-11 対応統合標準病名集の構築に関する知見が集積される。さらに、本研究で得られた知見の国内外への情報発信を行うことで、疾病分類の普及と実用化における日本のプレゼンス向上に貢献できる。

B. 研究方法

(1) 林班と共同で、公的統計で用いられている現行分類と WHO 分類の構造を比較分析し、わが国の公的統計の整合性・継続性を維持しつつ WHO 分類にも適用可能な新たな分類の作成を試み、意見発信を行う。また、疾病分類表及び死因分類表の原票を用いて新たな分類の妥当性・実用可能性についても考察する。

新しい死亡及び罹患統計用分類案の導入によってもたらされる公的統計への影響については、昨年度、以下の通りマクロアプローチとミクロアプローチとして実施予定と報告しており、今年度もその方針で分析を実施した。

ア) マクロアプローチ

ICD-10 と ICD-11MMS のカテゴリ間のマッピングテーブルを用いて ICD-11MMS をベースとした際の死亡数を推計する方法である。分類カテゴリが「1 対多」「多対多」の対応になっている場合、特定の ICD-10 コードに対応する死亡数を、対応する複数の ICD-11MMS コードに均等配分して推定することを目的としている。新分類案の策定と共に、この方式による集計を進めた。

イ) ミクロアプローチ

上述の方法では、1 つの ICD-10 コードに該当する死亡数を、対応する複数の ICD-11MMS コードに均等配分するため、死亡統計の推計精度が少し粗くなってしまうという欠点がある。そこで ICD カテゴリではなく、病名の粒度で ICD-10, ICD-11MMS のカテゴリを同定し、より精緻な分析をすることを目的とした方法である。

(2) 標準病名マスターと ICD-11 用語和訳作業結果を統合した ICD-11 対応の統合標準病名集の開発に向けた基礎資料を作成する。

(3) WHO-FIC 年次会議に参加して情報収集するとともに意見発信を行う。

(倫理面への配慮)

本研究は既存分類の分析と国内外の学会などでの情報収集と意見発信が研究主体であり、倫理的配慮は必要としない。

C. 研究結果

(1) 公的統計で用いられている現行分類と新たな死因・疾病分類、WHO 分類の比較分析

【マクロアプローチ】

わが国の死因統計及び罹患統計には、2013 年に公表された基本分類表(以下、基本分類表 2013)が用いられているが、ICD-11 の導入と WHO が公表した WHO 製表分類(以下、WHO 製表分類 2023)に対応した新たな基本分類表が求められており、2025 年 5 月の疾病、傷害及び死因分類部会で新たな死因分類と疾病分類が示された。この状況を踏まえ、本年度は 2013 年度に公表された基本分類表における死因分類と疾病分類(以下、死因分類 2013、疾病分類

2013)、さらに 2025 年度に提案された ICD-11 準拠の新たな死因分類と疾病分類(以下、死因分類 2025、疾病分類 2025)、さらに WHO 製表分類 2023 の比較により、新たな死因分類と疾病分類のわが国への導入の公的統計に与える影響、さらには WHO 製表分類との比較について分析を実施した。

本年度は、昨年度実施の手法を用いて、WHO から 2025 年 1 月に公表された mapping tables のうち、1 対多に対応した「10To11MapToMultipleCategories.xlsx」に、分析に用いる以下の各表を ICD-10 及び ICD-11MMS コードを用いて付加した。また、既存の公的統計への影響を分析するため、2023 年度の人口動態調査及び患者調査より以下の表を用いた。

<ICD-10 コードを用いた付加>

- ・ 死因分類 2013
- ・ 疾病分類 2013
- ・ 人口動態調査 2023 年度、下巻死亡 第 1 表－2 死亡数、死因(死因基本分類)
- ・ 患者調査 2023 年度、全国編 第 1 6 0 表

<ICD-11MMS コードを用いた付加>

- ・ MortalityTabulationList V2023.xlsx (WHO 作成)
- ・ MorbidityTabulationList V2023.xlsx (WHO 作成)
- ・ 基本分類表(案)(2025 年 5 月、第 13 回 疾病、傷害及び死因分類部会 資料 2)
- ・ 疾病分類表(案)(2025 年 5 月、第 13 回 疾病、傷害及び死因分類部会 資料 3)
- ・ 死因分類表(案)(2025 年 5 月、第 13 回 疾病、傷害及び死因分類部会 資料 4)

この作業は、昨年度研究と同様にそれぞれのテーブルを ICD-11MMS コードおよび ICD-10 コードを用いた名寄せにより実施した。

名寄せにあたり、ICD-11MMS コードと

ICD-10 コードそれぞれで機械的にコードの名寄せが不可能であった複数のコードの組み合わせによる項目については、昨年度研究で実施した方法と同様に、ICD-11MMS における「/」あるいは「&」を用いた複数のステムコードの組み合わせについては、記載されたコードのいずれかをプライマリとして認識する必要があると考えられるが、WHO からの公表資料にはコードの優先度については現状でも記載されていないため、本研究では最初に出現したステムコードを用いて名寄せを実施した。今後このようなコードの組み合わせの規則性については WHO からの公表を待つ必要があると考えられる。

マクロアプローチの分析結果として、多くの項目で新旧の疾病あるいは死因分類で同じ集計が可能であったが、項目によっては大幅な違いが見られた項目もあった。具体例としては、死因分類 2013 のアルツハイマー病(6400)に対応する ICD-10 コードは G30.0、G30.1、G30.2、G30.9 となっているが、死因分類 2025 のアルツハイマー病(08200)に対応する ICD-11 コードは 8A20 のみとなっており、残りの ICD-11 で 6D80.Z に区分される Dementia due to Alzheimer disease, onset unknown or unspecified は「その他の精神、行動又は神経発達の疾患群(06300)」に区分されている。このため、2023 年度のアルツハイマー病の死亡者数が、死因分類 2013 で 25453 人であったのに対して、死因分類 2025 では 7371 人と大きく減少する推計となった(表 1、表 2)。

今後、このような死因分類、疾病分類の新旧分類の違いをもとに、公的統計の継続性について検討する必要があると思われる。

【ミクロアプローチ】

マクロアプローチでは 1 つの ICD-10 コードに該当する死亡数を、対応する複数の ICD-11MMS コードに均等配分するため、死亡統計の推計精度が少し粗くなってしまうという欠点がある。さらにこれまでの研究で WHO のマッピングテーブルには約 10%ほどの疑義があることが判明している。そこで ICD カテゴリではなく、病名の粒度で ICD-10、ICD-11MMS のカテゴリを同定

し、より精緻な分析をすることを目的とした方法である。この分析は分担者の今井が担当した。

本年度は(2)で述べる標準病名マスターのICD-11対応、ICD-11用語和訳作業結果を用い、病名用語のリソースとした。またこれをベースとし、大規模言語モデル(LLM)であるgpt-oss120bを用い、エージェント的なワークフローにより自動でICD-11コーディングを行う手法を開発し、これを自由病名の解析に用いた。

これは元の病名文字列の正規化(文字化け修正など)をLLMで行った後、既知の病名と修飾語を用いたルールベースの解析に加え、その結果を再考して修正するプロセス、また必要があればICDの階層構造を上位から辿り、該当する候補を加えて再考するプロセス、などを繰り返して行うシステムである。詳細は「G研究発表」の松浦、今井(2025,26)を参照されたい。このLLMベースのシステムはローカルで動作し、外部にはデータを漏らさない。

解析対象は死亡統計と罹患統計の2種類あるが、死亡票は複数の病名に対し、仮原死因が決定され、また付帯情報(備考欄や死亡の状況の記載等)を人手精査した後に最終的なICD-10コードが決定される。その際に全体の5%くらいは仮原死因の変更が行われる¹。従って、死亡統計で用いられるICD-10コードが、死亡票中の病名のどれに該当するかが同定できないケースがある。これを解決するのが困難であるため、本研究では対象を罹患統計に絞って行った。厚生労働省より、令和2年度の患者調査票に対する特別集計データの提供を受け、これを対象とした。これは入院外来あわせ、主傷病名ごとの出現回数と拡大乗数の和(患者数推計に用いられる)が集計されたもので、令和2年の調査票情報の確定データ及び中間生成物の両方に存在しているもののみを集計対象とした72,762件の自由入力病名データである。

同年の患者調査はe-Statによると8348.8千人(10月)であるが、本特別集計データは前述の条件のためか、これより少

なくなっており、推計患者総数は6345.4千人であった。従って、e-Stat上のICD-10ベースの集計データと直接比較することができないため、本特別集計データ中の主傷病名に対し、ICD-10、ICD-11 MMSの双方でコーディングを行い新旧の疾病分類の違いを見ることとした。ただし、複数の傷病名が1つの欄に記載されている場合は先頭のものを採用した。

結果として主傷病名の件数ベースでは95.5%(ICD-10)、95.7%(ICD-11)、また患者数ベースでは98.8%(ICD-10)、98.8%(ICD-11)のものがコーディング可能であり、推計患者数ベースでの解析上は問題ない精度となった。

次に、ICD-10については2013年版の疾病分類(大分類・中分類)を、ICD-11については疾病分類表(案)(2025年5月、第13回疾病、傷害及び死因分類部会 資料3)を用い、ICD-10ベースの大分類、中分類、ICD-11ベースの疾病分類の突合表を作成した。この新旧比較結果を表3に示す。また、新旧疾病分類の推計患者数フローを図1に、新旧疾病分類の推計患者数対応ヒートマップを図2に示す。

図1を見ると分かりやすいが、明らかに最も大きい差異は循環器系→神経系への移動である。旧b-0900循環器系の約19%が新0800神経系へ移動している。他の詳細は考察で述べる。

(2) 標準病名マスターとICD-11用語和訳作業結果を統合したICD-11対応の統合標準病名集の開発

ICD-11では(1)分類体系の構造自体の変化(2)個々の分類概念の詳細化(3)単なる分類体系の提供から用語集の提供への変化(4)Post-Coordinationを用いた任意粒度での概念のコーディング、と言ったこれまでにない特徴があり、国内でこれまで用いられてきたコーディングスキームと

¹ 今井健「死因統計の精度及び効率性の向上に資する機械学習の検討に関する研究」厚生労働科学研究費補助金(政策科学総合

研究事業(統計情報総合研究事業))令和1～3年度総合研究報告書, 2021.

は大きく異なっている。国内の電子カルテ環境では厚生労働省標準ともなっている ICD-10 対応電子カルテ用標準病名マスター（以下、標準病名マスター）が広く導入されており、病名の記録と ICD-10 コードへの対応づけが行われているだけでなく、その ICD-10 コードは DPC など診療報酬請求にも広く用いられている。一方、ICD はこれまで単なる疾患分類のためのカテゴリ体系を提供するものであったが、ICD-11 からは Foundation Component 中に約 13 万語の用語セットが含まれ、大きく拡充されると共に用語集としての性質を帯びてきた。従って、ICD-11 の日本語版を作成し国内導入する際には、これまで国内で標準的に用いられてきた標準病名マスターとのダブルスタンダードを避け、円滑な移行を促すため整合性をとった上で適切に統合する必要がある。

そこで昨年度までの研究(R2-4 厚労科研政策科学総合(政策科学推進)「社会構造の変化を踏まえた保健医療にかかる施策立案に資する国際疾病分類の国内導入のための研究」)から継続し、標準病名マスターに含まれる病名について ICD-11 コードとの対応づけ作業を行った。これは(A) ICD-11 Foundation 用語の訳語と、国内標準病名マスターとを統合し ICD-11 コード対応の病名マスターとして拡充する際、並びに(B)国内の公的統計への影響を測る際の「マイクロアプローチ」(前述)を行う際、の2つの目的に対して必須である。これは分担者の今井が担当した。

本年度は前年度に引き続き、標準病名マスター中の病名から ICD-11MMS 並びに Foundation への対応データベースの更新を行った。最終的な成果については、<https://github.com/Imai-lab/SDM-ICD11>にて公開している。

既にこれまでの研究で明らかになっている通り、ICD-11 Foundation 約 13 万エンティティの和訳と標準病名マスター(カタカナ変換語を除く約 5 万語)との間は、文字列完全一致で約 8,600 語しか対応が取れない。残りについては、Post-Coordination を用いた標準病名の ICD-11 MMS コーディングが必要である²。Foundation 和訳は MMS の索引語となっているため、今後国内の ICD-11 MMS 導入にそのまま用いることが可能であるが、標準病名マスターの ICD-11 化は重要な課題である。本研究でこのための重要な資料が整備されたことは大きな成果である。また、この結果は、(2)で述べた疾病分類の変更による公的統計への影響分析(マイクロアプローチ)にも用いられ、大きな役割を果たした。

(3) WHO における ICD 改訂動向や諸外国の ICD-11 国内適用に関する情報収集

2025 年 10 月 13 日(月)から 16(木)に開催された WHO-FIC ネットワーク年次会議(スイス・ジュネーブにて対面およびオンライン開催)にオンライン参加した。

また、ITC においては、LLM の公的統計への応用に関し日本の取り組みとして“Application of LLM for automatic ICD coding of external cause of death”(2025 WHO-FIC Mid-Year ITC Meeting, 2025 年

² 今井 健. ICD-11 と標準病名マスターとのマッピングに関する研究. 厚生労働科学研究費補助金(政策科学総合研究事業(政策科学推進研究事業))「社会構造の変化を

踏まえた保健医療にかかる施策立案に資する 国際統計分類の国内導入のための研究」 分担研究報告書(令和 4 年度). 2023.

5月15日)、また“Application of LLM for automatic ICD/ICF coding - updates”(2025 WHO-FIC ITC Annual Meeting, 2025年10月16日)の発表を行うと共に、ITC Secretariat として各国からの情報収集を行った。前述の保健医療行政への LLM 活用は会議中에서도大きな反響を呼び、各国も LLM 積極活用に向けて大きく動き出し、その後 AI Tooling Interest Group が設立される運びとなった。日本として大きなプレゼンスを発揮したと考えている。

D. 考察

本年度は、2025 年度に提案された新たな疾病分類、死因分類を用いて公的統計への影響について分析を実施した。

【マクロアプローチ】

この分析にあたり、WHO の mapping tables と WHO 製表分類 2023、基本分類表 2013、基本分類表 2025 を組み合わせた統合表を構築したほか、統合表作成への課題について取りまとめ、その解決に向けた検討を実施した。統合表は、一部の例外を除いて構築は可能であるものの、ICD-11 での複数のコードの組み合わせについては対応が必要であり、また複数のステムコードが用いられている場合に、ステムコードの優先順位に関する情報が WHO から未発表であることから、本報告書執筆時点では統合表の完成には至らなかった。今後、WHO との連携をとりつつ、統合表の完成に向けた作業を実施したい。

【ミクロアプローチ】

まず、標準病名マスターと ICD-11 MMS / Foundation の対応、並びに ICD-11 Foundation の和訳を用いることで国内の標準的な病名セットと ICD-11 とのマッピングを行うための包括的な基盤が得られた。これは前厚労科研(厚労科研 政策科学総合(政策科学推進)「社会構造の変化を踏まえた保健医療にかかる施策立案に資する国際疾病分類の国内導入のための研究」(R2-R4)から継続して行ってきた大きな成果である。

またこれをベースとして用い、外部にデータを漏らさずローカルで動作する大規模言語モデル(LLM)を用いたエージェントワークフローによる ICD-11 コーディ

ングシステムの開発により、自由入力病名を精緻に ICD-11 コーディングすることが可能となり、本研究で公的統計での病名をもとに新旧での疾病分類の違いによる影響を精緻に分析することが可能となった。これも大きな成果である。明らかに、自由入力病名の ICD-11 コーディングは特に post-coordination などが導入されたため、大きく難易度が増しており、このような LLM を用いた支援手法は今後必須であると考えられる。

一方、新旧の疾病分類での影響分析(表3)であるが、主だった特徴は以下のようであった。

1) 脳血管疾患: 循環器系 → 神経系

旧 b-0900 循環器系の約 19% が新 800 神経系へ移動した。WHO は「脳卒中の病態と症状は脳の機能障害である」「他の臓器の虚血(腸・腎・眼)はそれぞれの臓器章に置かれているのに脳だけ循環器章なのは不整合」という観点から、1955 年以降の分類を覆した。この影響と考えられる。

2) 睡眠・覚醒障害: 神経系 → 新設「睡眠・覚醒障害群」

ICD-11 では第7章「睡眠・覚醒障害群」(7A-7B)が独立章として新設された一方、ICD-10 では G47(神経系)と F51(精神系)に分散していた。旧 b-0600 神経系の約 15% が新章 700 へ流れている。「器質性 vs 非器質性」の区別が廃止され、症状ベースで統合されたことが原因と考えられる。

3) 慢性疼痛・症状: 筋骨格/消化器 → 症状徴候

これは旧 b-1300 筋骨格 → 新 2100 が約 56,895 人(6.0%)、旧 b-1100 消化器 → 新 2100 が約 25,232 人(8.4%)等である。

ICD-11 Chapter 21 (MA-MH) に MG30 「慢性疼痛」と ME84 「脊椎痛」などが新設され、「3ヶ月以上持続する痛み」を一括分類、原疾患不明の慢性痛も独立して扱える様になった一方、ICD-10 では各臓器章に散在(腰痛は M54、片頭痛は G43 など)していたのが原因と考えられる。

4) 免疫系の独立: 血液・筋骨格 → 新設

「免疫系の疾患」

これは旧 b-0300 の 約 16%に該当する。ICD-11 で「免疫系の疾患」章(4A-4B)が独立した一方、ICD-10 では血液章(D80-D89 免疫機構障害)と他章(筋骨格の自己免疫疾患など)に分散していること、また自己免疫疾患・原発性免疫不全症が体系化されたことが原因と考えられる。

5) 健康状態に影響する要因(24 章)への流入

これは旧 b-0200 新生物 → 新 2400 や旧 b-1900 損傷 → 新 2400 が該当する。ICD-11 24 章「健康状態に影響を及ぼす要因又は保健サービスの利用の要因」(QA-QF)に、経過観察・検査・予防接種・後ケアなどが整理され、新生物のフォローアップ受診や損傷の後療法などが該当することが原因と考えられる。

6) 内分泌(糖尿病) → 視覚系

これは旧 b-0400 の 3.5%に相当する。糖尿病性網膜症(E11.3)などが ICD-11 では「視覚系の疾患」章(9A-9E)に分類される傾向であり、ICD-11 は「症状・障害が現れる臓器系」を優先する設計思想で、原因が糖尿病でも眼の疾患は眼の章に置かれることが要因と考えられる。

7) 皮膚 → 感染症

これは旧 b-1200 の 5.3%に相当する。皮膚科にあった感染症(蜂窩織炎、伝染性膿痂疹など)が ICD-11 では 1 章「感染症又は寄生虫症」に統合される傾向であることが原因と考えられる。

他にも、ICD11 では 17 章に性の健康に関連する状態群が新設されたが、本データからは小規模であり大きな影響は見られなかった。上記のうち件数が多いものについては特に統計継続性の観点から注意が必要である。

一方、本研究では死亡統計についてはミクロアプローチで十分に検討を行うことができなかった。死亡票では例えば飛び降りによる頭部外傷で死亡した場合であっても、付帯情報に「産後うつであった」と文章で書いてあれば、それを人手で精査し、原死因として「産後うつ」のコードが付与され

る。つまり I 欄 II 欄病名だけを見ても確定原死因に至った真の病名が書かれていないケースがある。病名ベースで解析するミクロアプローチは有用であるが、この様なケースにおいては、付帯情報を読み取って、ICD-11 ベースでは何に該当するか、を判断する LLM を用いた手法が別途必要と考えられ、今後の課題である。

以上、本年度研究において、基本分類表 2013 と基本分類表 2025 における死因分類と疾病分類の違いについて分析し、項目によっては ICD-11 適用における公的統計の継続性への課題があることを明らかにした。本研究で構築した統合表を用いたマクロ及びミクロアプローチを用いることで、ICD-11 適用における公的統計の継続性を検討するための基礎資料とすることができたと考えられる。

E. 結論

本研究では、死亡統計と疾病統計に着目し、これらの公的統計で用いられている現行分類と WHO 分類の構造を比較分析したほか、新たな基本分類表を用いた場合の死亡者数、推計患者数への影響について分析を実施した。また、本研究で構築した手法と統合表を用いることで、わが国への ICD-11 適用に活用可能な基盤的な情報の整理ができた。

G. 研究発表

1. 論文発表

1. 松浦 創, 今井 健. 公的統計調査における自由入力病名の LLM を用いた正規化手法の検討. 第 15 回日本医療情報学会「医用人工知能社会実装研究会」人工知能学会「医用人工知能研究会」(SIG-AIMED)合同研究会, 人工知能学会第二種研究会資料 SIG-AIMED-015-09, 2025.
2. 松浦 創, 今井 健. 再帰的降下探

索を用いた Agentic Workflow による病名の ICD-11 コーディング. 第 16 回日本医療情報学会「医用人工知能社会実装研究会」人工知能学会「医用人工知能研究会」(SIG-AIMED)合同研究会, 人工知能学会第二種研究会資料 SIG-AIMED-016-01, 2026.

2. 学会発表

1. Takeshi Imai, Kaori Nakayama. Application of LLM for automatic ICD coding of external cause of death". 2025 WHO-FIC Mid-Year ITC Meeting, 2025 年 5 月 15 日.
2. Takeshi Imai, Kaori Nakayama, Masahiko Mukaino. Application of LLM for automatic ICD/ICF coding - updates". 2025 WHO-FIC ITC Annual Meeting, 2025 年 10 月 16 日.
3. 今井 健. 大規模言語モデルの医療現場での活用と展望. NII オープンハウス 2025 招待講演, 2025 年 7 月 8 日.

4. 今井 健. 医療情報標準化と保健医療行政を支援する医療 LLM 開発. 第 44 回医療情報学連合大会, 2025 年 11 月 15 日.
5. 今井 健. 医療情報標準化と保険医療行政支援における LLM 活用. 第 16 回日本医療情報学会「医用人工知能社会実装研究会」人工知能学会「医用人工知能研究会」(SIG-AIMED)合同研究会 2026 年 3 月 5 日.

H. 知的財産権の出願・登録状況 (予定を含む。)

1. 特許取得
なし
2. 実用新案登録
なし
3. その他
なし

表1 死因分類：新旧比較（マクロアプローチ）

死因区分				新死因分類			
死因区分 分類コード	分類名	死亡数加 工	項目数	死因区分 コード	死因区分分類名	死亡数加 工	項目数
01000	腸管感染症	2,137	70	1100	腸管感染症	2,134	94
01201	呼吸器結核	1,344	19	1201	呼吸器結核	1,344	21
01202	その他の結核	243	22	1202	その他の結核	243	42
01200	敗血症	14,118	14	1600	敗血症	11,141	8
01401	B型ウイルス性肝炎	350	11	1501	B型ウイルス性肝炎	350	8
01402	C型ウイルス性肝炎	1,102	2	1502	C型ウイルス性肝炎	1,102	2
01403	その他のウイルス性肝炎	193	9	1503	その他のウイルス性肝炎	193	19
01500	ヒト免疫不全ウイルス(HIV)病	62	28	1300	ヒト免疫不全ウイルス(HIV)病	62	24
				1400	インフルエンザ	1,383	10
01600	その他の感染症及び寄生虫症	7,178	712	1700	その他の感染症又は寄生虫症	8,789	970
02101	口瘡、口腔及び咽頭の悪性新生物<腫瘍>	8,587	68	2501	口瘡、口腔又は咽頭の悪性新生物	8,587	81
02102	食道の悪性新生物<腫瘍>	10,750	8	2502	食道の悪性新生物	10,750	9
02103	胃の悪性新生物<腫瘍>	38,721	9	2503	胃の悪性新生物	38,721	10
02104	結腸の悪性新生物<腫瘍>	37,384	19	2504	結腸又は肛門直腸の悪性新生物	53,183	18
02105	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	15,737	2				
02106	肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	22,808	7	2506	肝臓又は肝内胆管の悪性新生物	22,847	6
02107	胆のう及びその他の胆道の悪性新生物<腫瘍>	17,239	7	2507	胆嚢又は胆道の悪性新生物	17,239	8
02108	膵の悪性新生物<腫瘍>	40,175	8	2508	膵臓の悪性新生物	40,175	9
02109	喉頭の悪性新生物<腫瘍>	791	6	2509	喉頭の悪性新生物	791	7
02110	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	75,762	7	2509	気管、気管支又は肺の悪性新生物	75,762	7
02111	皮膚の悪性新生物<腫瘍>	1,861	20	2510	皮膚の悪性新生物	1,861	27
02112	乳腺の悪性新生物<腫瘍>	15,363	9	2511	乳腺の悪性新生物	15,363	13
02113	子宮の悪性新生物<腫瘍>	7,107	11	2512	子宮の悪性新生物	7,107	12
02114	卵巣の悪性新生物<腫瘍>	5,154	2	2512	卵巣の悪性新生物	5,154	2
02115	前立腺の悪性新生物<腫瘍>	13,429	2	2514	前立腺の悪性新生物	13,429	2
02116	膀胱の悪性新生物<腫瘍>	8,591	10	2516	膀胱の悪性新生物	8,591	11
02117	中脳神経系の悪性新生物<腫瘍>	3,178	33	2518	脳又は中枢神経系の新生物	5,435	74
02118	悪性リンパ腫	14,434	48	2300	リンパ系新生物	14,783	72
02119	白血病	9,889	55				
02120	その他のリンパ系腫瘍、造血細胞及び関連組織の悪性新生物<腫瘍>	4,322	33	2200	骨髄系新生物	11,388	48
02121	その他の悪性新生物<腫瘍>	23,652	211	2511	その他の悪性新生物	22,504	255
				2400	その他の造血細胞又はリンパ系腫瘍の新生物	8,575	41
				2515	腎又は腎系の悪性新生物	7,151	3
				2600	その他の新生物	5,490	387
02201	中脳神経系のその他の新生物<腫瘍>	2,559	39				
02202	中脳神経系を除くその他の新生物<腫瘍>	11,141	355				
03100	貧血	2,578	86	3100	貧血	2,087	114
03200	その他の血液又は造血系の疾患及び免疫機構の障害	2,399	145	3200	その他の血液又は造血系の疾患	1,784	78
				4000	免疫系の疾患	4,348	226
04100	糖尿病	15,448	80	5100	糖尿病	15,426	89
04200	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	10,427	402	5200	低栄養	2,521	81
				5300	代謝障害	7,189	181
				5400	その他の内分泌、栄養又は代謝疾患	1,632	172
05100	血管性及び詳細不明の認知症	23,825	20	6100	統合失調症又はその他の一次性精神障害	1,273	33
05200	その他の精神及び行動の障害	3,035	529	6200	躁うつ病又は特発性不安の認知症又は特発性不安の神経認知障害	21,410	7

表2 疾病分類：新旧比較 (マクロアプローチ)

大分類	疾病分類表(本分類)	中分類	疾病分類表(中分類)	中分類名	新分類	疾病分類表(新分類)	新分類名
a-0101	腸胃感染症	b-0101	腸胃感染症	141	70	101	腸炎に起因する菌性または大腸菌
a-0102	結核	b-0102	結核	21	41	103	結核
a-0103	皮膚炎及び結核の菌を伴うウイルス性皮膚炎	b-0104	皮膚炎及び結核の菌を伴うウイルス性皮膚炎	639	68	106	皮膚炎又は結核菌を伴ったウイルス性皮膚炎
a-0104	真菌症	b-0107	真菌症	675	104	106	真菌症
a-0105	その他の感染症及び寄生虫の病	b-0103	非特異的炎症様式による感染症	57	59	102	主に特異的炎症による感染症
		b-0105	ウイルス性皮膚炎	245	23	104	ウイルス性皮膚炎
		b-0106	その他のウイルス性皮膚炎	69	148		
		b-0108	感染症及び寄生虫の病の除外・後遺症	7	12		
		b-0109	その他の感染症及び寄生虫の病	138	369	107	その他の感染症又は寄生虫の病
a-0201	腎の悪性新生物<腫瘍>	b-0201	腎の悪性新生物<腫瘍>	279	9	205	腎の悪性新生物
a-0202	結腸及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	b-0202	結腸の悪性新生物<腫瘍>	289	10	206	結腸の悪性新生物
		b-0203	直腸及び結腸に付いた直腸の悪性新生物<腫瘍>	175	27	207	結腸又は直腸の悪性新生物
a-0203	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	b-0205	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	233	7	209	気管、気管支又は肺の悪性新生物
a-0204	その他の悪性新生物<腫瘍>	b-0204	肺及び肺内結核の悪性新生物<腫瘍>	81	7	208	肺又は肺内結核の悪性新生物
		b-0206	気管の悪性新生物<腫瘍>	791	8	210	気管の悪性新生物
		b-0207	子宮の悪性新生物<腫瘍>	128	11	211	子宮の悪性新生物
		b-0208	悪性リンパ腫	138	48	203	リンパ腫新生物
		b-0209	白血病	87	35	202	白血病新生物
		b-0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	1,542	408	201	腫又は中核腫瘍の新生物
						204	その他の白血病腫瘍又はリンパ腫腫瘍の新生物
a-0305	悪性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	b-0311	悪性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	1,251	394	213	その他の新生物
a-0301	真菌	b-0301	真菌	279	88	301	真菌
a-0302	その他の血液及び造血系の疾患及び免疫機構の障害	b-0302	その他の血液及び造血系の疾患及び免疫機構の障害	181	145	302	その他の血液又は造血系の疾患
a-0401	甲状腺障害	b-0401	甲状腺障害	889	41	400	甲状腺の疾患
a-0402	糖尿病	b-0402	糖尿病	5,524	80	502	糖尿病
a-0403	糖尿病関連症、栄養失調及び代謝疾患	b-0403	糖尿病関連症、栄養失調及び代謝疾患	4,987	111	503	糖尿病関連症
a-0404	その他の内分泌、栄養失調及び代謝疾患	b-0404	その他の内分泌、栄養失調及び代謝疾患	871	308	504	その他の内分泌、栄養失調又は代謝疾患
a-0501	統合失調症、統合失調症型障害及び変性障害	b-0501	統合失調症、統合失調症型障害及び変性障害	891	28		
a-0502	気分(感情)障害(うつ病を含む)	b-0504	気分(感情)障害(うつ病を含む)	1,595	37	602	気分又は気分又はその他の一時的な精神障害
a-0503	神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	b-0505	神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	1,175	55	601	神経症性障害
a-0504	その他の精神及び行動の障害	b-0501	血行性又は認知失調の認知症	190	7	603	認知症又は認知症
		b-0502	精神及び行動の障害による精神及び行動の障害	84	152	605	精神又は行動の障害
		b-0506	認知症<精神障害>	108	25	606	認知症(精神障害)
		b-0507	その他の精神及び行動の障害	845	244	607	認知症又は認知症又は認知症
						608	その他の精神、行動又は精神障害の疾患群
						701	不眠症
						702	その他の睡眠・覚醒障害
a-0600	神経系の疾患	b-0601	パーキンソン病	250	3	801	パーキンソン病
		b-0602	アルツハイマー病	777	4	802	アルツハイマー病
		b-0603	てんかん	468	19	804	てんかん又はてんかん
		b-0604	脳脊髄炎及びその他の炎症性神経病	88	29	805	脳脊髄炎
		b-0605	自律神経系の障害	47	7	810	自律神経系の障害
		b-0606	その他の神経系の疾患	2,638	378	811	その他の神経系の疾患
a-0701	白内障	b-0702	白内障	1,707	12	902	白内障
a-0702	その他の眼及び付属器の疾患	b-0701	結核及び結核の眼	514	10	801	結核
		b-0703	結核及び結核の眼	1,068	8	904	結核又は結核の眼
		b-0704	その他の眼及び付属器の疾患	5,782	321	905	その他の眼疾患の疾患
						903	結核又は結核の眼
a-0801	内耳疾患	b-0801	内耳疾患	126	8	1001	内耳疾患
		b-0802	その他の内耳疾患	38	14		
a-0802	中耳疾患	b-0803	中耳疾患	268	15	1002	中耳疾患
a-0803	その他の中耳及び中耳炎の疾患	b-0804	その他の中耳及び中耳炎の疾患	75	29		
a-0804	内耳疾患	b-0805	メニエール病	114	1	1003	メニエール病
		b-0806	その他の内耳疾患	76	18	1004	その他の内耳又は中耳炎の疾患
a-0805	その他の耳疾患	b-0807	その他の耳疾患	295	45		
a-0801	真血性疾患	b-0801	真血性疾患	18,172	15	1101	真血性疾患
a-0802	真血性疾患	b-0802	真血性疾患	1,485	98	1102	真血性疾患
a-0803	その他の心疾患	b-0803	その他の心疾患	2,106	231	1104	その他の心疾患
		b-0804	その他の心疾患			1104	不整脈
						1105	心臓病
a-0904	脳梗塞	b-0904	脳梗塞	1,312	11	1201	脳内出血
a-0905	その他の脳血管疾患	b-0904	くも膜下出血	87	11	806	くも膜下出血
		b-0905	脳内出血	705	18		
		b-0907	脳動脈硬化(症)	7	1	808	その他の脳血管疾患
		b-0908	その他の脳血管疾患	205	34		
a-0906	その他の循環器系の疾患	b-0909	動脈硬化(症)	85	4		
		b-0911	低血圧(症)	37	5	1102	低血圧
		b-0912	その他の循環器系の疾患	329	124	1107	慢性動脈性血管疾患
a-1001	急性上気道感染症	b-1001	急性上気道感染症(のど)の病変	126	1	1201	急性上気道炎
		b-1002	急性気管支炎及び急性気管炎	215	6		
		b-1003	その他の急性上気道感染症	742	15		
a-1002	肺炎	b-1004	肺炎	68	33	1206	肺炎
a-1003	慢性気管支炎及び慢性気管炎	b-1005	慢性気管支炎及び慢性気管炎	239	14	1207	慢性気管支炎又は慢性気管炎
a-1004	気管支炎及び慢性気管炎	b-1008	気管支炎及び慢性気管炎	27	2		
a-1005	肺腫瘍	b-1010	肺腫瘍	282	14	1204	慢性気管支炎性肺腫瘍
a-1006	その他の呼吸器系の疾患	b-1006	アレルギー性鼻炎	1,857	7	1205	肺腫瘍
		b-1007	慢性鼻炎	1,795	8	1207	アレルギー性鼻炎
		b-1011	その他の呼吸器系の疾患	381	7		
a-1101	うっ血	b-1101	うっ血	596	148	1308	その他の呼吸器系の疾患
a-1102	腹内臓及び消化器疾患	b-1101	うっ血	134	8	1301	うっ血
a-1103	その他の消化器疾患及び消化器系の障害	b-1102	腹内臓及び消化器疾患	10,040	11	1302	腹内臓疾患又は消化器疾患
		b-1103	その他の消化器疾患及び消化器系の障害	464	80	1304	その他の消化器疾患又は消化器疾患
a-1104	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	b-1104	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	206	27	1306	胃又は十二指腸潰瘍
a-1105	胃炎及び十二指腸炎	b-1105	胃炎及び十二指腸炎	1,311	14	1305	胃又は十二指腸炎
a-1106	肝疾患	b-1107	アルコール性肝疾患	70	8	1309	アルコール性肝疾患
		b-1108	慢性肝臓炎(アルコール性のものを除く)	87	5	1310	慢性肝臓炎、他に分類されないもの
		b-1109	肝臓炎(アルコール性のものを除く)	117	4	1308	慢性肝臓炎又は慢性肝臓炎
a-1107	その他の消化器系の疾患	b-1110	その他の肝疾患	243	41	1311	その他の肝疾患
		b-1106	慢性	235	8	1307	慢性
		b-1111	肝臓炎及び胆道のうっ血	120	11	1312	肝臓炎又は胆道のうっ血
		b-1112	胆道疾患	97	21	1313	胆道の疾患
a-1200	皮膚炎及び皮下組織の疾患	b-1113	その他の消化器系の疾患	2,136	385	1314	その他の消化器系の疾患
		b-1201	皮膚炎及び皮下組織の疾患	135	35	1401	皮膚炎又は皮下組織の疾患
		b-1202	皮膚炎及び皮下組織の疾患	2,718	86	1402	皮膚炎又は皮下組織の疾患
a-1201	炎症性多発性関節炎	b-1203	その他の炎症性多発性関節炎	2,472	401	1403	その他の炎症性多発性関節炎
		b-1201	炎症性多発性関節炎	1,431	64	1501	炎症性多発性関節炎
		b-1202	炎症性多発性関節炎	2,472	37	1502	炎症性多発性関節炎
a-1302	腎臓障害	b-1303	腎臓障害(腎臓を含む)	2,417	32	1503	腎臓の障害
		b-1304	腎臓障害	689	27	1504	腎臓の障害
		b-1305	腎臓障害	77	1		
		b-1306	腎臓障害及び腎臓病	864	37		
		b-1307	その他の腎臓病	271	39		
a-1303	骨の関節炎及び骨の障害	b-1309	骨の関節炎及び骨の障害	1,404	49	1505	その他の骨に關する状態
a-1304	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	b-1302	関節炎	2,130	39		
		b-1303	関節炎	501	8	1506	関節の障害
		b-1310	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	1,000	348	1507	筋骨格系の疾患
a-1401	血液性疾患、腎臓管腔性疾患及び腎不全	b-1401	血液性疾患及び腎臓管腔性疾患	215	133	1606	血液性疾患又は腎臓管腔性疾患
		b-1402	腎不全	689	13	1607	腎不全
a-1402	乳癌及び女性生殖系の疾患	b-1407	乳房腫瘍及び乳腺組織の疾患	1,222	28	1601	乳房腫瘍又は乳腺組織の疾患
		b-1408	乳癌及び女性生殖系の疾患	1,027	169	1602	乳房腫瘍又は特定の乳腺組織の疾患
a-1403	その他の乳房腫瘍及び女性生殖系の疾患	b-1403	乳房腫瘍	1,42	12	1603	乳房腫瘍又は特定の乳腺組織の疾患
		b-1404	その他の乳房腫瘍及び女性生殖系の疾患	786	79	1609	その他の乳房腫瘍及び女性生殖系の疾患
		b-1405	乳房腫瘍(のど)	1,221	1	1603	乳房腫瘍又は特定の乳腺組織の疾患
		b-1406	その他の乳房腫瘍及び女性生殖系の疾患	85	47	1604	その他の乳房腫瘍及び女性生殖系の疾患
a-1501	皮膚	b-1501	皮膚	12	21	1801	皮膚
a-1502	皮膚血管性疾患	b-1502	皮膚血管性疾患	3	21	1802	皮膚、分枝又は皮膚の障害、タンパク質又は高血圧
a-1503	単発自然分枝	b-1503	単発自然分枝	16	14	1803	単発自然分枝
a-1504	その他の皮膚、分枝及び皮膚	b-1504	その他の皮膚、分枝及び皮膚	102	348	1804	その他の皮膚、分枝又は皮膚
a-1600	皮膚炎、炎症、分枝及び皮膚	b-1601	皮膚炎及び皮膚炎に關する皮膚	21	10	1801	皮膚炎又は皮膚炎に關する皮膚
		b-1602	その他の皮膚炎に關する皮膚	23	339	1802	その他の皮膚炎に關する皮膚
a-1700	先天性、家族性及び後天性疾患	b-1701	先天性、家族性及び後天性疾患	50	79	2001	先天性又は後天性疾患上の疾患
a-1800	癌、腫瘍及び異常細胞所見、異常細胞所見で分類されないもの	b-1702	先天性、家族性及び後天性疾患	281	769	2002	先天性又は後天性疾患上の疾患
		b-1800	癌、腫瘍及び異常細胞所見、異常細胞所見で分類されないもの	1,191	442	2101	癌又は異常細胞所見
						2102	その他の癌、腫瘍又は異常細胞所見、他に分類されないもの
a-1901	骨折	b-1901	骨折			2201	骨折
a-1902	その他の損傷、中毒及びその他の外因の影響	b-1902	その他の損傷及び内因の影響			2202	損傷内因又は内因の影響
		b-1903	損傷及び中毒	19	127	2203	損傷
		b-1904	中毒	25	240	2204	その他の損傷、中毒又は特定のその他の外因の影響
		b-1905	その他の損傷及びその他の外因の影響	1,875	808		
a-2101	正常妊娠及び産後の管理並びに管理計画	b-2103	正常妊娠及び産後の管理並びに管理計画	392	65		
a-2102	胎児の死亡	b-2104	胎児の死亡	2,494	3	2403	胎児の死亡
a-2103	その他の健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	b-2101	健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	752	118	2401	健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用
		b-2102	予防接種	29	2404		
		b-2105	特定の状況(病の経過)に及ぼす影響及び保健サービスの利用	105	105	2405	特定の状況(病の経過)に及ぼす影響及び保健サービスの利用
		b-2106	その他の健康状態に及ぼす影響及び保健サービスの利用	415	415	2406	その他の健康状態に及ぼす影響及び保健サービスの利用
a-2210	重症急性呼吸器症候群(SARS)	b-2210	重症急性呼吸器症候群(SARS)			2503	その他の特異的診断コード
a-2220	その他の特異的診断コード	b-2220	その他の特異的診断コード	159	139		
							「対象なし」
							50

表3 疾病分類：新旧比較（マイクロアプローチ）

ICD10					ICD11		
大分類	大分類名	中分類	中分類名	推計患者数(千人)	新疾患分類	新疾患分類名	推計患者数(千人)
a-0100	感染症及び寄生虫症	b-0100	感染症及び寄生虫症	145.8	100	特定の感染症又は寄生虫症	166.9
a-0101	腸管感染症	b-0101	腸管感染症	23.4	101	感染症に起因する胃腸炎又は大腸炎	23.3
a-0102	結核	b-0102	結核	3.3	103	結核	3.2
a-0103	皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス性疾患	b-0104	皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス性疾患	54.1	105	皮膚又は粘膜病変を特徴とするウイルス感染症	54
a-0104	真菌症	b-0107	真菌症	31	106	真菌症	29.7
a-0105	その他の感染症及び寄生虫症	b-0103	主として性的伝播様式をとる感染症	3.9	102	主に性的伝播による感染症	3.8
		b-0105	ウイルス性肝炎	10.3	104	ウイルス性肝炎	10.2
		b-0106	その他のウイルス性疾患	5			
		b-0108	感染症及び寄生虫症の続発・後遺症	0.7			
		b-0109	その他の感染症及び寄生虫症	14.1	107	その他の感染症又は寄生虫症	42.8
a-0200	新生物<腫瘍>	b-0200	新生物<腫瘍>	371	200	新生物	354.3
a-0201	胃の悪性新生物<腫瘍>	b-0201	胃の悪性新生物<腫瘍>	25.2	205	胃の悪性新生物	21.4
a-0202	結腸及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	b-0202	結腸の悪性新生物<腫瘍>	29.3	206	結腸の悪性新生物	18.2
		b-0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	14.6	207	直腸S状結腸接合部、直腸、肛門又は肛門管の悪性新生物	13.3
a-0203	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	b-0205	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	33	209	気管、気管支又は肺の悪性新生物	32.2
a-0204	その他の悪性新生物<腫瘍>	b-0204	肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	9	208	肝臓又は肝内胆管の悪性新生物	8.7
		b-0206	乳房の悪性新生物<腫瘍>	39.7	210	乳房の悪性新生物	35.1
		b-0207	子宮の悪性新生物<腫瘍>	9.3	211	子宮の悪性新生物	8.5
		b-0208	悪性リンパ腫	13.1	203	リンパ系新生物	13
		b-0209	白血病	6.5	202	骨髄系新生物	4.3
		b-0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	113	201	脳又は中枢神経系の新生物	6.9
					204	その他の造血組織又はリンパ組織の新生物	7.8
					212	その他の悪性新生物	110.1
a-0205	良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	b-0211	良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	78.4	213	その他の新生物	74.9
a-0300	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	b-0300	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	23.7	300	血液又は造血器の疾患	20.6
a-0301	貧血	b-0301	貧血	15.3	301	貧血	13.3
a-0302	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	b-0302	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	8.4	302	その他の血液又は造血器の疾患	7.4
					400	免疫系の疾患	24.4
a-0400	内分泌、栄養及び代謝疾患	b-0400	内分泌、栄養及び代謝疾患	458.9	500	内分泌、栄養又は代謝疾患	431.2
a-0401	甲状腺障害	b-0401	甲状腺障害	33.8	501	甲状腺障害	33.8
a-0402	糖尿病	b-0402	糖尿病	228.1	502	糖尿病	205.4
a-0403	脂質異常症	b-0403	脂質異常症	153.4	503	脂質異常症	153.8
a-0404	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	b-0404	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	43.7	504	その他の内分泌、栄養又は代謝疾患	38.3
a-0500	精神及び行動の障害	b-0500	精神及び行動の障害	491	600	精神、行動又は神経発達疾患群	487.5
a-0501	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	b-0503	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	193.9			
a-0502	気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	b-0504	気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	118.4	602	統合失調症又はその他の一次性精神症群	192.8
					604	抑うつ症群	88.2

a-0503	神経症性障害, ストレス関連障害及び身体表現性障害	b-0505	神経症性障害, ストレス関連障害及び身体表現性障害	60.9	601	神経発達症群	41.2
a-0504	その他の精神及び行動の障害	b-0501	血管性及び詳細不明の認知症	38.5	603	双極症又は関連症群	29.8
		b-0502	精神作用物質使用による精神及び行動の障害	17	605	不安又は恐怖関連症群	31.5
		b-0506	知的障害<精神遅滞>	10.7	606	物質使用症群	15.8
		b-0507	その他の精神及び行動の障害	51.6	607	原因は不明又は特定不能の認知症	26.6
					608	その他の精神、行動又は神経発達疾患群	61.6
					700	睡眠・覚醒障害群	43.9
					701	不眠障害群	22.2
					702	その他の睡眠・覚醒障害群	21.7
a-0600	神経系の疾患	b-0600	神経系の疾患	288.2	800	神経系の疾患	458.6
		b-0601	パーキンソン病	29.1	801	パーキンソン病	26.4
		b-0602	アルツハイマー病	97.3	802	アルツハイマー病	97.1
		b-0603	てんかん	19.4	804	てんかん又は発作	21.1
		b-0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	16.3	809	脳性麻痺	14.1
		b-0605	自律神経系の障害	4.2	810	自律神経系の障害	5.4
		b-0606	その他の神経系の疾患	121.7	811	その他の神経系の疾患	89.7
a-0700	眼及び付属器の疾患	b-0700	眼及び付属器の疾患	303.6	900	視覚系の疾患	319.3
a-0701	白内障	b-0702	白内障	67.8	902	白内障	66.8
a-0702	その他の眼及び付属器の疾患	b-0701	結膜炎	28.2	901	結膜炎	28.8
		b-0703	屈折及び調節の障害	39.4	904	屈折又は調節の障害	39.1
		b-0704	その他の眼及び付属器の疾患	168.2	905	その他の視覚系の疾患	119.5
					903	緑内障又は緑内障疑い	65.1
a-0800	耳及び乳様突起の疾患	b-0800	耳及び乳様突起の疾患	97.9	1000	耳又は乳様突起の疾患	93.9
a-0801	外耳疾患	b-0801	外耳炎	18.6	1001	外耳炎	18
		b-0802	その他の外耳疾患	9.6			
a-0802	中耳炎	b-0803	中耳炎	27.5	1002	中耳炎	27.1
a-0803	その他の中耳及び乳様突起の疾患	b-0804	その他の中耳及び乳様突起の疾患	6.2			
a-0804	内耳疾患	b-0805	メニエール病	8.3	1003	メニエール病	8.3
		b-0806	その他の内耳疾患	6.1	1004	その他の耳又は乳様突起の疾患	40.5
a-0805	その他の耳疾患	b-0807	その他の耳疾患	21.7			
a-0900	循環器系の疾患	b-0900	循環器系の疾患	1006.6	1100	循環器系の疾患	814.4
a-0901	高血圧性疾患	b-0901	高血圧性疾患	599	1101	高血圧性疾患	599.5
a-0902	虚血性心疾患	b-0902	虚血性心疾患	57.3	1103	虚血性心疾患	54.7
a-0903	その他の心疾患	b-0903	その他の心疾患	118.6	1106	その他の心疾患	18.5
					1104	不整脈	46.8
					1105	心不全	58.1
a-0904	脳梗塞	b-0906	脳梗塞	125.3	807	脳虚血	126.5
a-0905	その他の脳血管疾患	b-0904	くも膜下出血	11.4	806	くも膜下出血	11.1
		b-0905	脳内出血	41.4	805	脳内出血	41.1
		b-0907	脳動脈硬化(症)	0.1	808	その他の脳血管疾患	18.7
		b-0908	その他の脳血管疾患	19.8			
a-0906	その他の循環器系の疾患	b-0909	動脈硬化(症)	6.9			
		b-0911	低血圧(症)	2.1	1102	低血圧	1

		b-0912	その他の循環器系の疾患	24.8	1107	慢性動脈閉塞性疾患	8.4
					1108	その他の循環器系の疾患	27.5
a-1000	呼吸器系の疾患	b-1000	呼吸器系の疾患	544.5	1200	呼吸器系の疾患	534
a-1001	急性上気道感染症	b-1001	急性鼻咽頭炎[かぜ]<感冒>	20.5	1201	急性上気道炎	158.7
		b-1002	急性咽頭炎及び急性扁桃炎	43.2			
		b-1003	その他の急性上気道感染症	98.4			
a-1002	肺炎	b-1004	肺炎	27.5	1206	肺炎	31.8
a-1003	急性気管支炎及び急性細気管支炎	b-1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	42.3	1207	急性気管支炎又は急性細気管支炎	40.6
a-1004	気管支炎及び慢性閉塞性肺疾患	b-1008	急性又は慢性と明示されない気管支炎	6.8			
		b-1009	慢性閉塞性肺疾患	21.9	1204	慢性閉塞性肺疾患	27.2
a-1005	喘息	b-1010	喘息	91.8	1205	喘息	90.5
a-1006	その他の呼吸器系の疾患	b-1006	アレルギー性鼻炎	104.6	1202	アレルギー性鼻炎	104.6
		b-1007	慢性副鼻腔炎	24.7	1203	慢性副鼻腔炎	24.6
		b-1011	その他の呼吸器系の疾患	62.8	1208	その他の呼吸器系の疾患	55.9
a-1100	消化器系の疾患	b-1100	消化器系の疾患	315.6	1300	消化器系の疾患	266.7
a-1101	う蝕	b-1101	う蝕	8	1301	う蝕	0.7
a-1102	歯肉炎及び歯周疾患	b-1102	歯肉炎及び歯周疾患	10.2	1302	歯肉疾患又は歯周疾患	6
a-1103	その他の歯及び歯の支持組織の障害	b-1103	その他の歯及び歯の支持組織の障害	15.2	1303	その他の口腔顔面複合体の疾患又は障害	14.4
					1304	胃食道逆流症	24.7
a-1104	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	b-1104	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	14.5	1306	胃又は十二指腸の潰瘍	14.3
a-1105	胃炎及び十二指腸炎	b-1105	胃炎及び十二指腸炎	60.5	1305	胃炎又は十二指腸炎	61.1
a-1106	肝疾患	b-1107	アルコール性肝疾患	4.3	1309	アルコール性肝疾患	4.5
		b-1108	慢性肝炎(アルコール性のものを除く)	6.4	1310	慢性肝炎、他に分類されないもの	6.3
		b-1109	肝硬変(アルコール性のものを除く)	5.4	1308	肝線維症又は肝硬変	3.4
		b-1110	その他の肝疾患	13.8	1311	その他の肝疾患	15.9
a-1107	その他の消化器系の疾患	b-1106	痔核	15.4	1307	痔	12.5
		b-1111	胆石症及び胆のう炎	17.1	1312	胆石症又は胆嚢炎	17.1
		b-1112	膵疾患	6.9	1313	膵臓の疾患	6.8
		b-1113	その他の消化器系の疾患	137.9	1314	その他の消化器系の疾患	78.9
a-1200	皮膚及び皮下組織の疾患	b-1200	皮膚及び皮下組織の疾患	317.7	1400	皮膚の疾患	294
		b-1201	皮膚及び皮下組織の感染症	24.4	1401	感染症又は寄生虫症に起因する特定の皮膚障害	0.1
		b-1202	皮膚炎及び湿疹	141	1402	皮膚炎又は湿疹	141.1
		b-1203	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	152.2	1403	その他の皮膚の疾患	152.8
a-1300	筋骨格系及び結合組織の疾患	b-1300	筋骨格系及び結合組織の疾患	959.4	1500	筋骨格系又は結合組織の疾患	870.3
a-1301	炎症性多発性関節障害	b-1301	炎症性多発性関節障害	56.4	1501	変形性関節症	211.5
					1502	炎症性関節症	59.1
a-1302	脊柱障害	b-1303	脊柱障害(脊椎症を含む)	283.4	1503	脊椎の障害	0.1
		b-1304	椎間板障害	78.6	1504	椎間板変性	77.7
		b-1305	頸腕症候群	17			
		b-1306	腰痛症及び坐骨神経痛	50.2			
		b-1307	その他の脊柱障害	31.5	1505	その他の脊椎に関連する状態	301.9
a-1303	骨の密度及び構造の障害	b-1309	骨の密度及び構造の障害	65.8			
a-1304	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	b-1302	関節症	212.7			
		b-1308	肩の傷害<損傷>	64.6	1506	肩の病変	70.6

		b-1310	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	99.4	1507	低骨量障害	62.7
					1508	その他の筋骨格系又は結合組織の疾患	86.7
a-1400	腎尿路生殖系系の疾患	b-1400	腎尿路生殖系系の疾患	348.7	1600	腎尿路生殖系系の疾患	354.6
a-1401	糸球体疾患、腎尿細管間質性疾患及び腎不全	b-1401	糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	18	1606	糸球体疾患又は腎尿細管間質性疾患	17.3
		b-1402	腎不全	151.2	1607	腎不全	151.4
a-1402	乳房及び女性生殖器の疾患	b-1407	月経障害及び閉経周辺期障害	31	1601	異常子宮又は膣出血	3.8
		b-1408	乳房及びその他の女性生殖器の疾患	52.7	1602	閉経期の又は特定の明示された周閉経期の障害	24.6
					1605	乳房又はその他の女性生殖器の疾患又は女性骨盤底の機能不全	61.8
a-1403	その他の腎尿路生殖系系の疾患	b-1403	尿路結石症	9.7	1608	尿路結石症	9.7
		b-1404	その他の腎尿路系の疾患	44.4	1609	その他の腎尿路生殖系系の疾患	44.6
		b-1405	前立腺肥大(症)	36.3	1603	前立腺肥大症	36.2
		b-1406	その他の男性生殖器の疾患	5.5	1604	その他の男性生殖器の疾患	5.2
					1700	性の健康に関連する状態群	2.4
a-1500	妊娠、分娩及び産じょく	b-1500	妊娠、分娩及び産じょく	20.8	1800	妊娠、分娩又は産褥	20.7
a-1501	流産	b-1501	流産	1.7	1801	流産	1.6
a-1502	妊娠高血圧症候群	b-1502	妊娠高血圧症候群	0.8	1802	妊娠、分娩又は産褥期の浮腫、タンパク尿又は高血圧症	0.8
a-1503	単胎自然分娩	b-1503	単胎自然分娩	0.2	1803	単胎自然分娩	0.2
a-1504	その他の妊娠、分娩及び産じょく	b-1504	その他の妊娠、分娩及び産じょく	18.2	1804	その他の妊娠、分娩又は産褥	18.1
a-1600	周産期に発生した病態	b-1600	周産期に発生した病態	9.1	1900	周産期に発生した特定の状態	10.1
		b-1601	妊娠及び胎児発育に関連する障害	5.1	1901	在胎期間又は胎児発育に関連する新生児の障害	5.3
		b-1602	その他の周産期に発生した病態	4	1902	その他の周産期に発生した特定の状態	4.8
a-1700	先天奇形、変形及び染色体異常	b-1700	先天奇形、変形及び染色体異常	18.4	2000	発生異常	17.5
		b-1701	心臓の先天奇形	2.6	2001	心臓又は大血管の構造上の発生異常	3.6
		b-1702	その他の先天奇形、変形及び染色体異常	15.8	2002	その他の発生異常	14
a-1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	b-1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	83.2	2100	症状、徴候又は臨床所見、他に分類されないもの	182.3
					2101	腰痛又は坐骨神経痛	48.4
					2102	その他の症状、徴候又は臨床所見、他に分類されないもの	133.9
a-1900	損傷、中毒及びその他の外因の影響	b-1900	損傷、中毒及びその他の外因の影響	429.7	2200	損傷、中毒又は特定のその他の外因の影響	394.1
a-1901	骨折	b-1901	骨折	193.3	2201	骨折	150.4
a-1902	その他の損傷、中毒及びその他の外因の影響	b-1902	頭蓋内損傷及び内臓の損傷	13.9	2202	頭蓋内損傷又は内臓の損傷	14
		b-1903	熱傷及び腐食	5.1	2203	熱傷	4.5
		b-1904	中毒	4.3			
		b-1905	その他の損傷及びその他の外因の影響	213.1	2204	その他の損傷、中毒又は特定のその他の外因の影響	225.2
					2402	生殖に関連する理由のための保健医療サービス	0.5
a-2100	健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	b-2100	健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	36.1	2400	健康状態に影響を及ぼす要因又は保健サービスの利用の要因	103.2
a-2101	正常妊娠及び産じょくの管理並びに家族計画	b-2103	正常妊娠及び産じょくの管理並びに家族計画	0.4			
a-2102	歯の補てつ	b-2104	歯の補てつ	0	2403	歯科補綴装置	0.3
a-2103	その他の健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	b-2101	検査及び診査のための保健サービスの利用者	1.2	2401	健診又は検査目的の保健医療サービスの利用	2.4

		b-2102	予防接種	0.2		2404	予防接種	1.5
		b-2105	特定の処置(歯の補てつを除く)及び保健ケアのための保健サービスの利用者	0.8				
		b-2106	その他の理由による保健サービスの利用者	33.5		2405	その他すべての健康状態に影響を及ぼす要因又は保健医療サービスの利用	98.6
						2402	生殖に関連する理由のための保健医療サービス	0.5
a-2200	特殊目的用コード	b-2200	特殊目的用コード	0.9		2500	特殊目的用コード	6.2
a-2210	重症急性呼吸器症候群[SARS]	b-2210	重症急性呼吸器症候群[SARS]	0				
						2501	COVID-19	6.2
a-2220	その他の特殊目的用コード	b-2220	その他の特殊目的用コード	0.9		2502	その他の特殊目的用コード	0

図1 新旧疾病分類の推計患者数フロー (マイクロアプローチ)

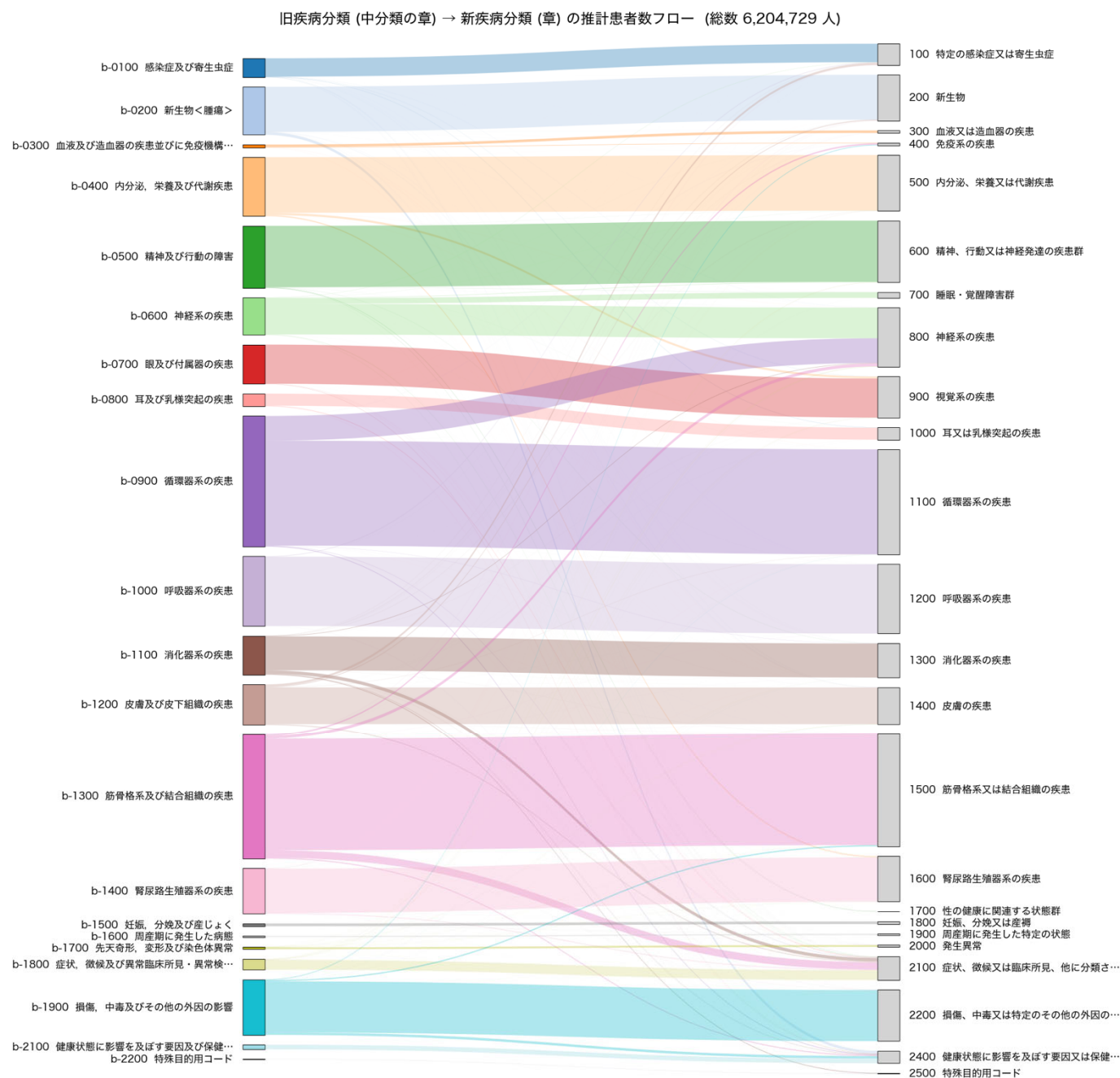


図2 新旧疾病分類の推計患者数対応ヒートマップ(マイクロアプローチ)

